

採れたて!!

わかごぼうのニュース

No.68

発行 2019年11月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町 1-4-1-201
TEL:072-999-7900

予想外のハプニングは必ず起る

今年の秋の外出企画の行き先はニフレルです。ですが、開催予定日の天気予報が大雨のため翌日に日程を変更することになりました。先行き不安です。

当日は行楽日和。場所が遠方という事もあって、普段より早めの時間での集合だったのですが、参加者全員が揃っていません。時間通りの出発にホッとす

るもまだまだ気は抜けません。休日の地下鉄は人がごった返っていて、電車内での車椅子移動が出来ない状態になってしまいました。電車を待つ乗降口の場所も考えてないといけなかったですね。終点駅からモノレールへ向かうため改札を出ようとすると、買っていた切符の金額が足りずに乗り越し清算を体験することに。乗り越し切符の使い方には戸惑うメンバーもいて、ちよつとしたハプニングにはありませんでしたが、無事改札を抜けて



いざモノレールへ。殆どのメンバーが初体験のモノレールに乗ると、高所恐怖症や絶叫系が苦手なメンバーは怖がっていました。でも、そうでもないメンバーは普通に楽しんでいたり反応は様々でした。予想外の事がいろいろあったのですが、着いてみれば予定通りの現地到着時間でした。

移動時間が長くて、少し疲れているメンバーもいましたが、ここからが本番です。施設内では「ニフレル内で十五個の「ふれる」について見つけよう」というミッションが課せられています。目的を持って施設内を自由に散策することになるので今回は探索系イベントなんだと今更ながら自覚しました。施設内は様々に「ふれる」をテーマにしたエリアが複数作られています、それぞれのテーマに合った海の生き物や陸地の生き物など様々な生き物を見ることが出来ました。散策するペースが似たようなメンバー同士で自然とチームが形成されミッション達成を目指してチーム単位での行動が開始されました。無事に十五個の「ふれる」は見つかるでしょうか。(次号へ続く)

ハプニングはつきものでござる!!



その対策は遊戯雑誌にですわー*

わかごぼうは

失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのお話を学べるから。

想像力を働かせてみよう

夏ごろから畑で作っていたアズキですが収穫して、莢から取り出してみると、量が少なくて予定していた餡作りやアズキのお菓子には使えそうにないと話していると、手伝ってくれていた引退生から「コーヒー豆と似てるし、アズキでコーヒー作ろうや。」という提案というか思い付きの言葉が出されました。普段なら、こういつた無理なチャレンジ企画は乗らない人も、何故かその時は乗ってしまい企画が成立。どんな味になるのか?そもそもどうやって作るのか?というか作れるのか?全く未知の企画にいざチャレンジです。

コーヒー作り当日。アズキをフライパンに入れて、煎り続けます。手探りなので、どこまで煎るのが分からず、終わりが見えません。パチパチという音がしてきたので、そこをキリとして火からおろしました。深煎りも作る事になっていたので半分ほどを深く煎りました。飲んだ感想は、浅煎りは、薄いきな粉の味。深煎りは、コーヒーに近いけど、えぐみが強くやっぱり本物のコーヒーとは違う。結果として本物のコーヒーの方がいいという意見が多かったです。



浅煎りと深煎り好みは? コーヒーと言えるのか?



☆参加対象になる方

- ◇社会参加を望みながら不安を感じている方
- ◇これからの自分を考えたい
- 家族以外の人との関わりが薄い方
- ※また、その方のご家族・親族の方もご相談いただけます。(込み合う場合がございますのでご予約下さい。)

今を変えたいけど、どうしたらいいかわからない。そんなあなたに答えるための社会的居場所です。

わかごぼうに 来ませんか?

開催時間：毎週木曜日14:00-16:00
開催場所：わかごぼう
八尾市南本町7-6-23
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ&参加申込み
電話：072-992-6921
✉ : wakagobou@yaops.jp
電話受付時間：10:00-17:00 (祝日除く月~金)

自分のペースで参加できます。



ワンもあまるや

そろそろで言うなら完売勝負で決着つけよう

今年の秋の出店イベントは有利なブースが取れたのでメイン商品となる琥珀糖の売り上げに期待がかります。琥珀糖製造チームとで琥珀糖のパッケージ袋や常温ドリンクなどの仕入れチームに分かれて最後の仕上げにかかります。事前に、琥珀糖の包装イメージは固めていたのですが、すぐ見つけられると思っていただけ、ホームセンターは広く、どこに包装材料があるかわからず、ぐるぐるすると店内を探しました。店員さんに案内され、包装材料の豊富さに喜びましたが、反対に選ぶのが大変です。意見が割れてなかなか決まらないうちで決めた袋は表の部分にリボンの印刷をしている袋でした。決め手は中身が見えてデザインも凝っていたからです。袋が決まり、もう一つの用事の当日に売予定のドリンク選びになり、買ってお茶の種類でスタッフさんと意見が割れました。

両者とも譲らず膠着状態になったので、それならどちらのお茶が速く売れるか勝負する事に。お茶は五本ずつ買うことにして、残りは炭酸飲料と炭酸水を少し混ぜたラインナップになりました。出店イベントは秋晴れの中の開催となりました。今年のわかごぼうのコンセプトはお土産屋さんで、琥珀糖がメイン商品です。琥珀糖は一般的なお菓子とは言えなかったため恐らく商品説明が必要になるだろうと考え、イベント前に琥珀糖の説明の練習をすることにしました。商品説明に悩む売り子担当メンバー。何度も練習しましたがタイムアップとなり、いざ出店イベント会場に。イベント開始時は、気温が高かったので、ドリンクの売れ行きがよく、メインの琥珀糖よりも先に売り切れてしまいました。お茶の売れ行き対決は、二本差で仕入れチームメンバーの勝利だったのですが、真の勝利者はスタッフさんおススメのお子様向け炭酸飲料だったもあり、勝負は

ドローでした。後は琥珀糖を売り切るのみです。見た目がカラフルなので特に女の子に人気でしたが、終盤に差し掛かりダースほどまだ残っていました。そこに卒業生のメンバーが助っ人として登場し、猛烈な勢いで営業活動を始めます。「美味しいですよ〜」とか「可愛いですよ〜」とかこういう、相手の感情を揺さぶるフレーズは心に響きますね。一時間ぐらいで全て売りされました。制限時間内に完売したのは初めてです。

・微力ですが、サポート兼売り子として参加しました。参加者が少なかったので、効率よく回るか心配でしたが卒業メンバーも協力してくれたりして何とか完売させることが出来ました。ドリンクはもう少しあってもよかったなと思いました。店が効率よく回るか心配していた部分はプチパニックになりながらも、頑張っただけを回してくれていたで「おお！頑張ってくれるやん！」と心の中で思ったり、後輩の成長していく姿が見れて嬉しかったです。

・琥珀糖の説明に悩んで、頭痛もしたけど本番でもなんとかやれたかなと思います。前半と後半ともに接客したけど目が太陽の光で疲れたりしたときは代わってもらった。完売してよかった。終了後、売り上げの計算をした。計算間違いしていないかと思いましたが、とりあえず、疲れました。

・接客して思ったことは子供やお孫さんのいる方や女の子に売れ、好きなもの選んでいったときに色がピンクのものがよく売れていて、面白いなと思いました。

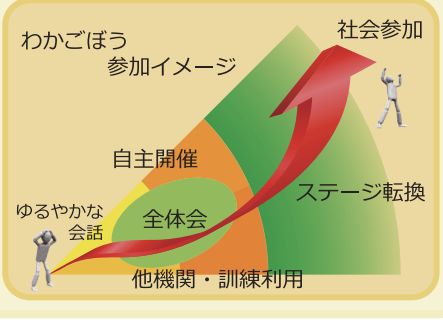
・一度目の秋の出店イベントの時はわかごぼうに来たばかりで、ただ参加するだけの上に緊張していたので何も覚えておらず、しんどかった思い出がありました。二度目の時は僕の立ち位置も変わり、わかごぼうの中でリードしていく立場になっており、新たなメンバーをメインに持つていき、僕の立場はサポートだと意識して参加していました。そして今回わかごぼうに来てから、三回目の出店イベント参加。立場はあまり変わらないけれど関わり方が変わり、何もしないサポートの仕方を意識して今わかごぼうに関わっている。困っているからと言って何もかも手助けすることは違うと感じたイベントでした。

・あまり手伝いすぎないように意識しながら接客しました。恒例の移動販売は今年は売り切れると思ったのでやりませんでした。完売できたので良かったです。

八尾市社会的居場所事業

「わかごぼう」について

スモールステップを積み重ねて自己を認容し元気を回復した後、自身が望む社会参加を実現する拠点になる事業です。



今回の一人旅で得られたものは

(前号まで) 自分のこれかを見直すため加賀温泉で開催されている宿泊型職業体験事業に参加しました。

旅館に着き、荷物を部屋に置いてから「こつこつとかが」の本部に向かいました。本部は、普通の一軒家でした。中に入り、スタッフさんから「こつこつとかが」がどういった事業をしているのか、加賀で働くための生活サポート、履歴書などの書き方といったお話をしてもらい、まだまだ自分は自立していないなと思いつ、加賀に移り住むかどうか悩みました。自分の中の不安は、病院との相性が合うか、お薬があるのか、やりたい、できると思える職があるのか、ホームシックにならないかという事です。ただ期待している部分もありました。加賀の人は人当たりがよさそう、自然や風景もたくさんあって、気持ちよく過ごせそう。車の運転技術も向上しそうだと思いました。けれど、まだまだ自分の中で悩むことも多く、それくらい、「こつこつとかが」の事業は本格的な就職とそのサポートについて魅力的で考えられている事業でした。話が終わり、自分の至らなさに気が落ち込み旅館へ戻りました。旅館での夜は温泉や食事を楽しんで、就寝しました。翌日、再度「こつこつとかが」に行ったり、観光をしたので行きとは違い、重い荷物を抱えて地元に戻りました。今回の旅で、旅行に必要な準備が分かったこと、遠い所で住み込みでの働き方や生き方もありだなあと、いろいろ経験が得られて良かったと思いました。

これからのわかごぼう

来月は、年末感謝という事で普段よく使っている刃物の砥ぎに挑戦したり、数人のメンバーの誕生日を手作りメニューでまとめてお祝いしたり、みんなで趣味の買い物に出かけたりします。他にも秋冬野菜の収穫や親睦会も計画されています。もちろん、いつものボランティアやテーマトークもありますよ。みんな似ている。ひとりにはよくない。つながる力を身に着けよう。八尾市社会的居場所わかごぼう新規参加者募集中です。